



# 第64期 株主通信

上半期のご報告  
2020.4.1 ▶ 2020.9.30

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここに当社グループの第64期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

## 第64期 上半期ダイジェスト

本年上半期における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大の影響により、個人消費・企業活動が停滞し、経済活動再開の動きがみられるものの景気は急速に悪化しており、先行きは依然不透明であります。

このような状況の中、社員の健康と安全の確保を最優先として、社会生活や活動の根幹である物流を止めないという使命を持ち、顧客やパートナー事業者と一体となって社会的責任を果たすべく、事業継続に取り組んでまいりました。コア事業である物流情報サービス事業においては、国内輸送需要の減衰により、貨物情報数が大幅に減少するなど厳しい事業環境ではありましたが、各事業で適正人員の配置、業務効率の向上を進めると共に、全社での取り組みとしてコストへの強い意識を持ち経費の削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、上半期の売上高は726億円(前期比9.4%減)となりましたが、営業利益については、減益幅を抑制することができ、35億円(同2.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う助成金の計上(営業外収入)などがあり、25億円(同8.5%増)となりました。

当社グループとしては、新型コロナウイルス収束後に新たに生まれる社会的課題や物流構造の変化を見据えた中で、長期ビジョンに掲げるトランコムならではの高度な「はこぶ」仕組みの創造に注力してまいります。

代表取締役会長

清水正久

代表取締役社長執行役員

恒川穰



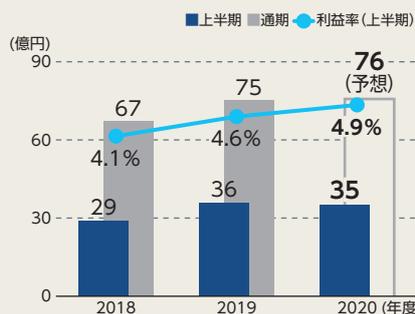
### 売上高

726億円 前期比9.4%減



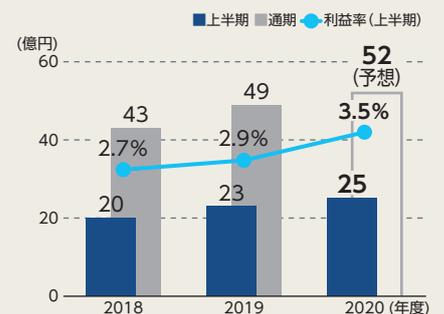
### 営業利益

35億円 前期比2.2%減



### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

25億円 前期比8.5%増



## セグメント別概況

### ロジスティクスマネジメント事業

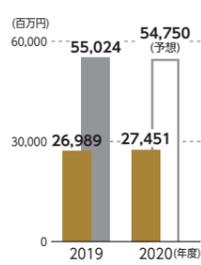
サプライチェーン全体の課題を分析・理解し、最適な解決策でトータルにサポート

売上高 **27,451**百万円 前期比 **1.7%**増  
 営業利益 **2,097**百万円 前期比 **25.3%**増

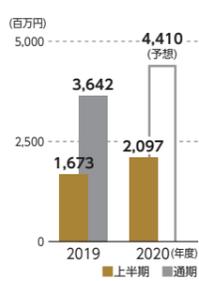


- 前期及び今期稼働拠点の寄与、今期新規立上げ拠点の早期安定化に加え、コロナ禍の巣ごもり需要で個人宅配ニーズが高まり物量が増加したことなどにより、増収増益
- 運営効率化による利益率向上

#### 売上高



#### 営業利益



### 物流情報サービス事業

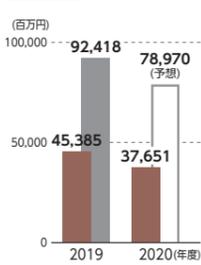
約13,000社のネットワークを活用し、空事情報と貨物情報をマッチング

売上高 **37,651**百万円 前期比 **17.0%**減  
 営業利益 **1,322**百万円 前期比 **17.7%**減

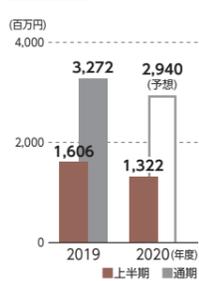


- 国内輸送需要の減衰による影響を受け、貨物情報数が大幅に減少したことにより、減収減益
- 製造業への営業強化による安定した貨物量の確保、適正人員の配置や業務効率向上への取り組みなどにより、市場環境に左右されない事業基盤の構築を推進

#### 売上高



#### 営業利益



### インダストリアルサポート事業

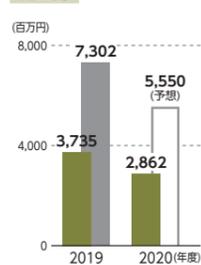
生産業務を請け負い、徹底した生産管理・品質管理を実施し、スムーズな運営をサポート

売上高 **2,862**百万円 前期比 **23.4%**減  
 営業利益 **47**百万円 前期比 **73.7%**減

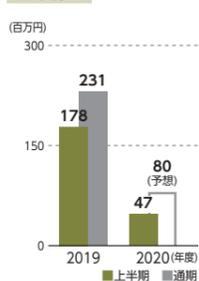


- 顧客の生産減や工場閉鎖等の影響を受け、稼働人員が減少したことにより、減収減益
- 自動車関連に加え、他業界への業容拡大による事業基盤の構築

#### 売上高



#### 営業利益



### その他

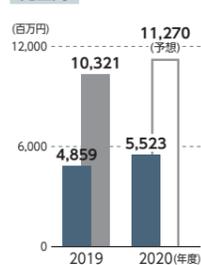
海外事業、情報システムの設計開発業務及び車両整備業務

売上高 **5,523**百万円 前期比 **13.7%**増  
 営業利益 **192**百万円 前期比 **26.7%**減

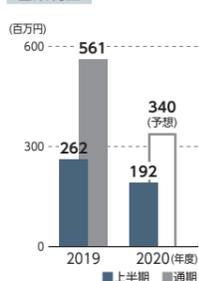


- 2019年10月に子会社化したSergent Services Pte Ltdの連結化により、増収
- 国内システム部門における新技術習得費用の増加等により、減益

#### 売上高



#### 営業利益

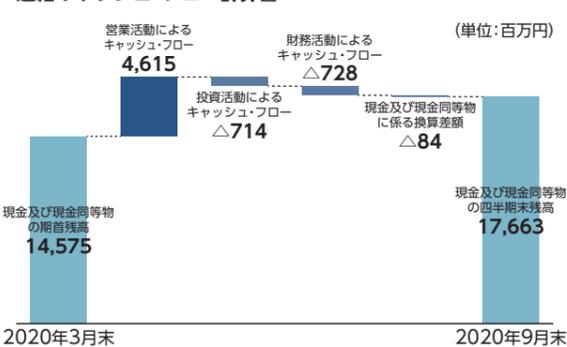


## 連結財務データ

### 総資産・純資産・自己資本比率



### 連結キャッシュ・フロー計算書



## 当社グループの将来に向けた取り組み

長期ビジョンとして掲げる、トランコムならではの高度な「はこぶ」仕組み創造に向けて、当社グループが考える事業の方向性や具体的な取り組みをご紹介します。

### これからの事業の方向性

当社グループは「トランコムならではの高度な「はこぶ」仕組みの創造」を長期ビジョンに掲げました。これまで培ってきた物流情報サービス事業の圧倒的な情報量や、物流センター運営の現場力・運営力を活かし、「はこぶ」ことの最適化を追求したサービス構築の実現に取り組んでまいります。

トラックドライバーの高齢化、人手不足という大きな社会課題に対し、「はこぶ」ことの効率化をもって物流の抜本的改革を実現し、社会における存在価値を高めてまいります。

長期  
ビジョン

トランコムならではの高度な「はこぶ」仕組みの創造  
 = 広く多くの荷主・物流会社に利用されるプラットフォームを構築

中期  
ビジョン

「はこびかた」「はこぶもの」を充実し、  
 「はこぶ」ことの最適化を追求したサービスを構築

中期の  
主要方針

限りある輸送力を最大限活かした「はこびかた」を創出  
 ×  
 業界を超えた多様な「はこぶもの」を創出

### 「はこぶ」を推進していくための体制

「はこぶ」を切り口にした全社営業を推進していくために、営業推進グループを新設しました。営業推進グループと各事業部が連携を一層強化することで、強い営業体質を作りスピード感をもって「はこぶ」を推進していきます。また、全事業の様々な機能を組み合わせることで、お客様により良いサービスをご提供できるような体制を作っていくと共に、各事業の対応領域を拡大していき、国内における「はこぶ」量の増大を目指していきます。

## 「はこぶ」仕組みの創造に向けた具体的な取り組み

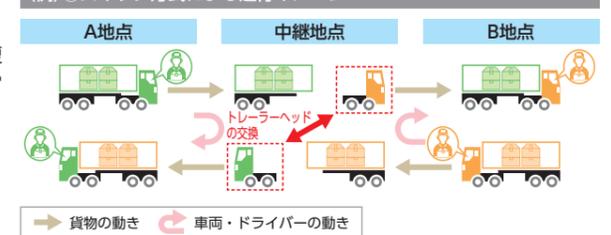
### 中継輸送

「はこびかた」  
 を変える

中継輸送とは、トラックの長距離運行において、一つの運行を複数人で分担する輸送方式であり、長距離運行の回避や長時間労働が抑制されトラックドライバーの負担軽減にも繋がります。

- 現在、当社では2種類の中継輸送トライアルを実施しています。
- ①スイッチ方式……中継地点でトレーラーヘッドを交換
  - ②積替え方式……中継地点で別車両へ貨物を積替え

(例) ①スイッチ方式による運行イメージ

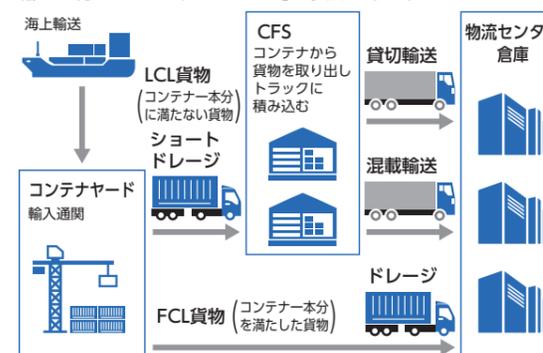


### ドレージ輸送

「はこぶモード」  
 を拡充

「はこぶもの」  
 を増やす

ドレージ輸送とは、主に海外から港に上がったコンテナ入りの貨物をコンテナのまま陸上輸送する輸送方式です。上半期には、川崎港(神奈川県)での自社稼働や、東京・大阪に次いで名古屋港(愛知県)でのドレージ業務を新たに開始いたしました。国際・港湾貨物の取り扱いを一層強化し、通常のドレージ輸送に加え、コンテナ本分に満たない貨物の貸切輸送や他荷主との混載輸送を行うことで、「はこぶもの」の拡充に取り組んでまいります。

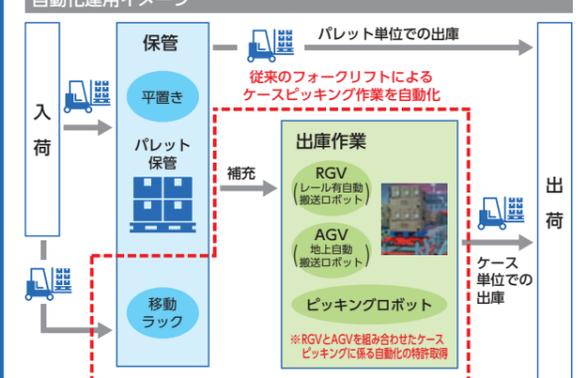


### 物流センターの自動化導入

「はこぶ」  
 の実現に向けて

2020年5月に資本業務提携を締結したChinoh.Ai株式会社と共同で物流センター内における出庫作業の自動化に取り組んでおります。従来のフォークリフトによる出庫作業を自動化し、「無人化」ではなく「省人化」による作業負担低減を目指すことで、人手不足解消や労働環境改善を図ります。

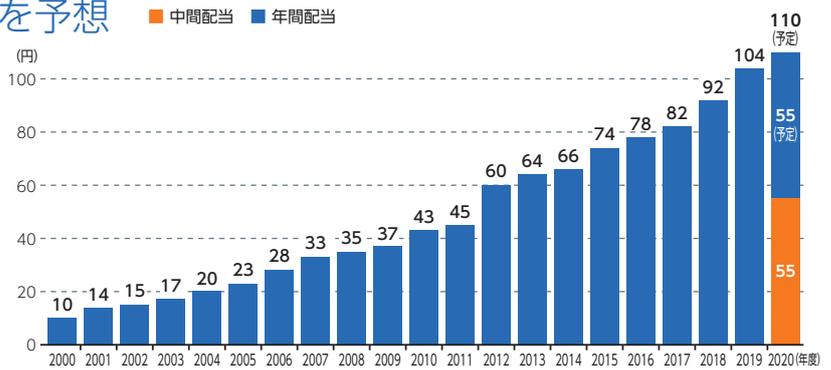
自動化運用イメージ



## 株主還元 —20期連続の増配を予想

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つとして認識し、経営基盤・財務体質強化に向けた内部留保の確保に留意しつつ、財務状況及び連結業績等を総合的に勘案し、継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、上記方針のもと前事業年度に引き続き増配を実施し、1株当たり中間配当金を前期と比べ3円増配し、55円としました。年間配当金につきましては、前期と比べ1株当たり6円増配し、110円を予定しております。



## 株式情報 (2020年9月30日現在)

### 株式の状況

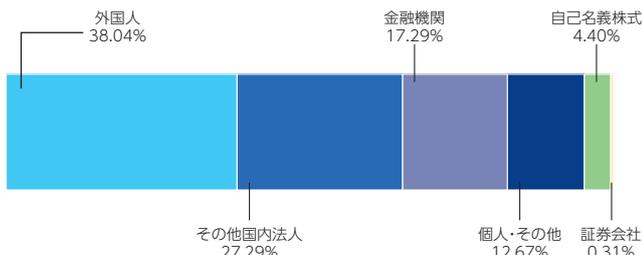
発行可能株式総数 . . . . . 40,000,000株  
 発行済株式総数 . . . . . 10,324,150株  
 株 主 数 . . . . . 3,043名

### 大株主の状況

| 株主名   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| ラネット株式会社  | 2,694   | 27.2    |
| ピーピーエイチ フォーフィデリティ ロープライズストックファン<br>(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ) | 771     | 7.8     |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)  | 639     | 6.4     |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES                                      | 434     | 4.4     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                       | 424     | 4.3     |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505224                               | 309     | 3.1     |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00                            | 284     | 2.8     |
| GOVERNMENT OF NORWAY  | 270     | 2.7     |
| ピーピーエイチ フィデリティ グループ トラスト ベネフィット<br>プリンシパル オール セクター サポートフォリオ   | 131     | 1.3     |
| トランコム従業員持株会   | 119     | 1.2     |

(注) 上記のほか、当社は自己株式454千株を保有しており、持株比率の算定においては、自己株式を除いて算出しております。

### 所有者別株式分布



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主 確定日 3月31日

中間配当金受領株主 確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 株式会社みずほ信託銀行 証券代行部  
 特別口座管理機関

同 連 絡 先 〒168-8507  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 TEL 0120-288-324 (通話無料)  
 (ご利用時間 9:00～17:00 土・日・休日を除く)

上場証券取引所 東京証券取引所、名古屋証券取引所

公 告 の 方 法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL  
<https://www.trancom.co.jp>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

## ホームページのご案内

トランコム

検索



[www.trancom.co.jp](http://www.trancom.co.jp)



[www.trancom.co.jp/r](http://www.trancom.co.jp/r)

当社のホームページでは会社概要・事業内容・財務情報などの最新情報や詳細情報をご参照いただけます。

## トランコム株式会社

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-19-30  
 マザックアートプラザ15F  
 TEL:052-939-2011 (代表)

